

○コース 全行程：12.6 km

10時16分 スタート 南の駅やえせ

↓

↓ 4.6 km

10時36分 (1) 東風平の石獅子 八重瀬町東風平195

↓

↓ 1.2 km

10時50分 (2) 志多伯南の石獅子 八重瀬町志多伯231

↓

↓ 0.4 km

10時55分 (3) 志多伯西の石獅子 八重瀬町志多伯257-2

↓

↓ 3.4 km

11時24分 (4) 八重瀬公園白梅学徒の碑 八重瀬町富盛

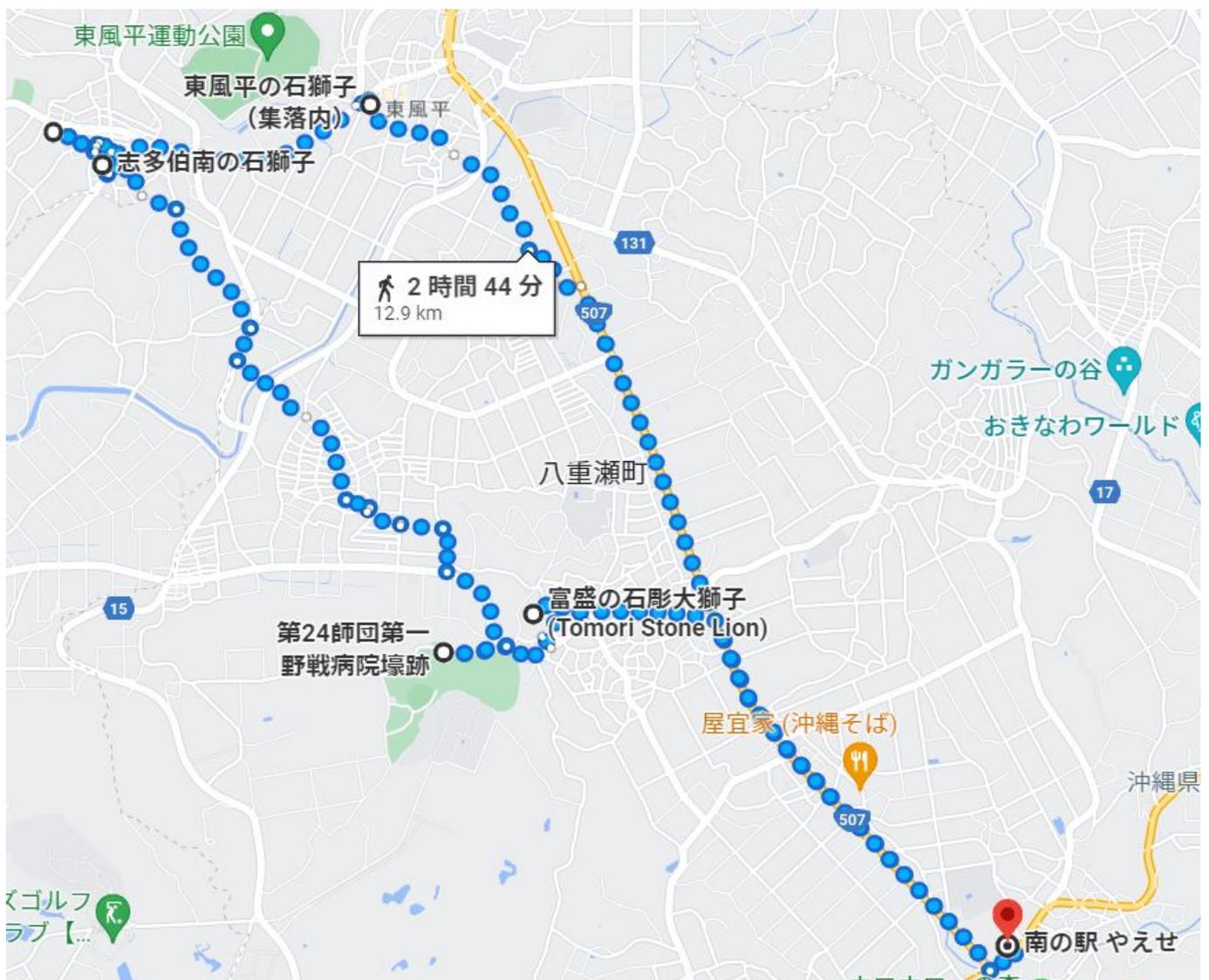
↓

↓ 3.0 km

↓

11時47分 ゴール 南の駅やえせ

シーサーサイクルコース地図



八重瀬町 石獅子マップ

沖縄で多く見掛ける石獅子は「村落獅子」と呼ばれるもので、火事を防ぐヒーゲーシ(火返し)や、悪霊の侵入を防ぐために造られ、村の入り口などに設置される言わば沖縄の守り神。八重瀬町にもたくさんの石獅子があります！9 集落 18 体の石獅子たちは、どれも個性的な表情で見て回るだけでも楽しい。特に、富盛の石彫大獅子は県内各地に見られる村落石獅子の始まりと言われており、三世代に渡って八重瀬を見守ってくれています。

卯又方のシーシ

宜次

西又方のシーシ

子又方のシーシ

伊覇

村の外木の小高い丘にヒーゲーシ(火返し)と魔除けのために置かれた。

現在も旧暦10月に火の用心を祈願して獅子を拝む。「カママイ」という行事がある。



東の石獅子

南・東・西の獅子は八重瀬岳に向かって置かれ、北の獅子は近くのガン屋(遺体運搬のための道具)に向かって置かれている。

牛又方のシーシ



東風平

北の石獅子

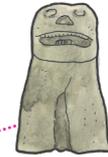
小城

青年(ニ-セー)を祭るための獅子。拝むようになって、小町の男たちは祭るようになったとか。



ニ-セー石

西の石獅子



新城

八重瀬岳へのヒーゲーシ(火返し)だけでなく、四方から驚いながら魔物を追い払う。

志多伯

東の石獅子(夫婦獅子)

西の石獅子

北の石獅子

西の石獅子

年に1度旧暦8/20に石獅子の御願があり、5体の獅子をまわす。

安里

もともと2体の獅子があったが、1体は石彫を壊した。



富盛の石獅子

とら富盛

北の石獅子



北の石獅子



具志頭

とにかく大きい!! もともとあった石に彫刻が施された。

富盛

石彫大獅子



村を守る村落獅子として、最大・最古!! その昔、火事が多かった富盛。八重瀬岳から火の気が出てくるということ、そのに向けて獅子を立てたところ、火事はおさまった。